



八期オンライン日記

別冊 玉龍8期パーティ



2025年9月16日 & 17日

玉龍8期パーティ案内

時: 2025年9月16日
12時~15時 (3時間)
会食2時間を1時間延長

場所: 日比谷 松本楼
東京都千代田区日比谷公園 11-2
会費: 20,000円

出席 & 取り消し連絡先: 西山 和宏
email: mfikazu@tkg.att.ne.jp
email: nishiyamakazu@softbank.ne.jp
携帯: 070 2796 4878
参加申し込み or 取り消し期限
2025年8月4日(月)
参加 or 取消の連絡は、必ず西山から
確認を受け取るようにしてください

会食メニュー
フレンチ フルコース
スパークリングワイン
赤白ワイン他

オプショナル・ツアーのご案内

オプショナル・ツアーのご希望に応えて
2025年9月16日 船本船でのパーティ終了後出発 雨天前行
ビアレストラン「ライオン銀座七丁目店」
住所: 中央区銀座 7丁目 9-20
参 加 費: 実費精算です。
ドイツの香料漬け漬けビアレストラン、
予約はしませんが席を確保できます。
銀座内通りを約10分散策しながら、
「ライオン銀座七丁目店」へ向かいます。
歩行不安な方は、ご自分でタクシーを拾つ
て向かってください。

2025年9月17日 会食 & 深夜宮 雨天前行
参加費: 1万円 10時30分: 深草雷門前集合
浅草散策後、「茶寮一船」(ちゃりょう いちまつ)にて
ミニ会席。12時~13時30分
浅草雷門での集合に遅れたら12時までに直招
会食場所の「茶寮一船」へお越しください。
Tel 03-3841-0333 住所: 台東区雷門1-15-1
茶寮一船 (登録有形文化財)

14時20分: 水上バスにて、浅草より隅田川に架かる橋
を渡り抜けて浜離宮に向かう。一万歩以上の散策を行つたため、自力歩行が可能な方の参加をお勧めします。
「茶寮一船」会食のみ参加希望者は、12時までに
「茶寮一船」へお越しください。(要事前申し込み)

浜離宮:江戸時代には鶴獣や釣りを楽しんだ大名庭園。
この池は潮の干満によって面が変化する。幕末には石造洋館、延喜殿が建設され、維新後は皇室園遊の地になつた。周遊道次「中庭の御茶屋」で休憩(予定)。

オプショナル・ツアーの参加希望者は
いずれも 2025年8月5日(火)までに
西山 和宏へご連絡ください

日比谷公園、昔は海

徳川家康が、駿河から国替えになってやってきたときの江戸は、土地の高低が激しく、葦が茂った沼地が多い住みにくい場所であった。

それを現わす典型的な地域として、現在の「日比谷公園」がある。その地は、図の青い斜線部分で示される「日比谷入江」を含めて海であった。

昔、今日の日比谷公園をはじめ皇居前広場も東京駅も海であった。

「浜離宮」は、下図の「江戸前島」と書かれた辺りに、江戸湾に入ってくる船を見張

るための番所として設けられ、その後役目は点々と移り変わり「今日の浜離宮」になった。



日比谷松本楼の歴史

松本楼は、1903年、日比谷公園が「洋花、洋食、洋楽」で表されるの「3つ洋」のコンセプトのひとつとして開園したとき、「洋食」を担うものとして創業開店した。

松本楼の建物はお洒落なマンサード屋根の3階建て、ハイカラなモボやモガにとって「松本楼でカレーライスを食べてコーヒーを飲む」ことは、当時、流行の最先端であった。その影響は、今日まで残り、近隣の帝国ホテルや東京会館でも、カレーライスは人気メニューの一つである。



国革命の父・孫文と梅屋庄吉

1階ロビー右手に展示されている燭台付きアップライトピアノは、梅屋庄吉邸で孫文夫人宋慶齡が弾いていたピアノで、国産最古のひとつである。

1911～1912年にかけて中国で発生した辛亥革命時、日本に亡命していた孫

文は、現社長 小坂文乃の曾祖父、梅屋庄吉にしばしば招かれ、松本楼を訪れるなど物心両面で支援を受けた。

孫文（写真中央）は、大正4年、梅屋邸で宋慶齡と巡り会って結婚した。宋慶齡は、孫文とともに中国へ帰国するまでの東京滞在中、梅屋邸を訪れ、このピアノを弾いていたという。



10円カレーチャリティセールのはじまり

昭和46年（1971）秋、松本楼は、沖縄デーの大混乱の最中に放火され炎上焼失した。

全国からの暖かい励ましに支えられて、昭和48年9月25日、新装再開店に際し、感謝の心をこめた記念行事として、「10円カレーチャリティセール」は始まった。



「胡錦濤国家主席訪日歓迎夕食会」

平成20年(2008)5月6日、福田康夫総理（当時）主催の「胡錦濤国家主席訪日歓迎夕食会」が松本楼で開催された。胡錦濤主席は、孫文と梅屋庄吉の資料を熱心に閲覧した。



首掛け銀杏

日比谷公園の松本樓の建物のそばに「首かけ銀杏」と呼ばれる銀杏の巨木がある。樹齢は推定400年超、かつての生育場所は現在の日比谷交差点付近であった。

明治34年（1901）、日比谷通りの拡幅工事にともない、伐採されようとしたとき、林学博士本多静六（日比谷公園の設計者；公園の父）が、「私の首をかけてでも移植する」と言って、この木を救ったことから「首掛け銀杏」と呼ばれるようになった。



薩摩藩裝束屋敷

日比谷公園には多くの樹木や四季折々の花々が園内に生育し、都会のオアシスとして多くの人々が訪れ楽しんでいる。公園敷地のほとんどは江戸時代には大名屋敷地であった。

芝高輪に上屋敷があった薩摩藩の上屋敷は、参勤交代では、江戸への出入りに便利な場所にあったが、江戸城には少し遠かった。

毎月の1日、15日、28日、五節句の登城に際し、島津藩主は、江戸城に近い日比谷公園の一角に設けた「薩摩藩装束屋敷」で休憩をとり、長袴など城中用に装束を改めて登城した。

鹿鳴館は、明治 16 年 11 月 29 日、その薩摩藩装束屋敷の跡地（現在の千代田区内幸町 1-1、大和生命ビル・帝國ホテル東側）に建てられた。そのとき、装束屋敷の有名な黒門は残されたが先の戦争で焼失した。



日比谷焼き討ち事件

日露戦争は東郷平八郎が率いる日本海軍がロシアのバルチック艦隊を殲滅するなどして勝利を収めた。米国大統領のセオドア・ルーズベルトの斡旋により、米国のポートマスで日露間の和平交渉が行われた。

当時、日本は多大の軍費支出で財政は悪化、多額の増税・国債の増発がなされた。

ロシアも革命運動の激化で、両国とも戦争継続が困難になっていた。それでも日本国内では連戦連勝の報道がなされ、多額の賠償金獲得が期待されていた。



しかし、ロシアは日露戦争の戦場は、満洲（現中国東北部）南部と朝鮮半島北部であり、ロシア領内はまったく日本に占領されていないことを理由に賠償金の支払いを拒否した。

ルーズベルト大統領は、仲介役ではあったが、日本が賠償金を得て、軍備をさらに強化することを警戒していたため、ロシアの賠償金の支払拒否を支持した。ルーズベルトは、すでにこのときから、将来の日本との戦争への準備を始めていた。

ロシアに、樺太の南半分の割譲、租借地であった遼東半島の日本への利権移譲、満洲や韓国に対する指導権の優位などを認めさせることで、日本に妥協させ、講和条約であるポーツマス条約に調印させた。

ところが国民は、ポーツマス条約を不満として、1905年9月5日、条約破棄や戦争継続などを主張する日比谷焼き討ち事件がこった。この事件は軍部のトラウマになり、大東亜戦争が敗色濃厚になっても、それを認めることができず最悪の終末を迎えることになった。



2025年9月16日



玉龍八期会パーティ in 日比谷松本楼

2025/09/19





吉村

吉村弘子です。よろしくお願ひします。



木場

皆さん、久しぶりの再会、楽しいひと時を過ごされておられるようです。私は左膝動脈りゅうバイパス手術の為、リハビリ中、参加出来ませんでした。東京見物楽しんで下さい。幹事西山さん、ご苦労さまです。



森

今夜のホテルからの夜景です



永野

東京だねー

ゆっくりお休みなさい。

	参加者	9/16	9/17
		松本楼	一松
1	竹之内望彦	◎	◎
2	東川 敏治	◎	✗
3	満留 紀弘	◎	✗
4	安倍 洋子	◎	◎
5	西山 和宏	◎	◎
6	吉村 弘子	◎	◎
7	大石 慶二	◎	✗
8	森 繁	◎	◎
9	浜崎 隆	◎	◎
10	木佐貫 晃嗣	◎	✗
11	崎元 雄厚	◎	◎
12	小森 芳雄	◎	✗

参加申告順



大石

和枝さん！ おかげでいいホテルを紹介してくれてありがとう。

一緒に出来ず残念でした。次は一緒に行けるよう。



永野

大石さん 貴方がよかと言われること安心しました。



西山

和枝さん、いつの日いか皆さんと一緒に同じ風景を見る事ができるように頑張ってください。風景は変わらずあなたを待っています。

す。



永野

西山さん優しいお言葉ありがとうございます。
是非是非行きたいとこです。



森

木場さん、リハビリ中とのこと、お身体ご自愛ください。
また次の機会にご一緒できるのを楽しみにしています。

202年9月17日



大石

朝2,000円のモーニングを3人で食べ、
8:30ひとり先に東京駅へ。
上越新幹線（2時間）新潟駅へ向かう。





西山

皆さま おはようございます。今日も元気でいきましょう。
大石さんは、長野県上越へ、我々は浅草から浜離宮へ。



森

タクシーで浅草へ向かっています。森、浜崎。



西山

それがベストの方法だと思います。私もそうします。



森

着きました仲見世をブラブラしています。



西山

10時半になりましたら、一旦雷門の前に来ていただけるとありがとうございます。





台東区 2025.09.17 13:06



台東区 2025.09.17 13:06



(右上笑顔集団に注目)



森

最後の晚餐を 2 人でやっています。

いろいろとお世話様になりありがとうございました。



竹之内

こちらこそ、とても楽しかったです。有難う御座いました。



隈元

おいしそう。 中華料理だすなあ！

竹之内さん

今回は、行けずにはみませんでした。又の機会に会いましょう。隈元



竹之内

是非、是非そうしましょう。

2025年9月18日



西山

昨日も天候に恵まれ楽しく過ごされたことでしょうか。
私も存分に楽しませていただきました。ありがとうございました。
今日はお気をつけてお帰り下さい。
空の旅の無事を祈っております。



森

お気遣いありがとうございます。無事に帰れるよう気をつけます！
また次の機会もよろしくお願ひします。



安倍

浜崎さん、森さん、二日間ご一緒に出来て、楽しかったです。
今日もよく歩きましたね。
最後の挨拶も出来ず済みませんでした。
どうぞ、お気をつけて、お帰り下さいませ。
又何時の日かお会い出来るといいですね。
お元気でお過ごし下さいませ。



西山

待ってま～す。



永野

玉龍八期パーティの名札、ありがとう。
誰も持っていない私だけの物。
＊直前に参加できることになった永野和代さんと松元節子さんへ
作成してあった名札を郵送しました。松元からは受け取った旨の電話がありました。

楽しい集いは次へ続く………。



森
10時発はとバス
で都内観光に行
ってきます森、浜崎、小森



永野
森さん東京旅行の写真楽しそう有難う
他の人も観たい。



森
昨日東京タワーの展望台で外からロープに
ぶら下がってガラスを拭いてる人がいました。



森

浜松町からモノレールに乗った時、満員で濱崎君と立っていたら、近くの若い男女がすっと立ってここにお座り下さいと言われて有り難く座らせて頂きました。

あとで二人で老人に見られたとじゃろなと話し方でした。

第3ターミナルを過ぎたころその女性がどこ便ですかと聞くのでJAL便ですと言ったら次ですよと教えてくれました。こちらは、JALは第1ターミナルだから終点まで乗っていれば良いだろうと思っていたら第3Tの次が第1Tとなっていたのであわてて降りました。



教えてもらわなかつたらANAのターミナルまで行くところでした。東京には親切な人が多いと感じた今回の旅行でした。



竹之内

良い感じで旅が出来て良かったですね。

実は、私も浜離宮からの帰りの電車で、若い男性が、どうぞと言って席を譲ってくれたので、どうもありがとうございました。少々疲れてもいたので有難たかったです。こんな事って何年かぶりでした。



西山

私は地下鉄の大江戸線に乗りましたが、席を譲ってくれる人はいませんでした。それほど高齢者には見えなかったのでしょうか？それとも不親切な人ばかりだったのでしょうかそれが問題だ。



森

席がたくさん空いてたのでは？



西山

席が空くまで、立っていました。



浜崎

空港では美しい
娘さんに見送って
もらいました。



2025.09.18 15:07



浜崎

たった二泊三日の東京ツアーでしたが、景色に見とれ、酒に酔い、友情に
ほだされ、楽しい三日間でした。西山さんが二月末頃から、企画された玉
竜同窓生再会の宴は、微に入り細にわたり周到に準備され、おもてなしの
心が身にしました。ご出席のメンバーも心に残る楽しい いい方ばかりでした。
完璧主義者たる西山さんの面目躍如、頭が下がります。
有難うございました。ご苦労様でした。



西山

浜崎隆さん 過分に過ぎる賛辞、素直にありがとうございますと申し上げ
ます。その言葉にも増して私が大変嬉しかった事は皆さんの笑顔です。
浅草茶寮一松での写真はびっくりするほど笑顔の集団です。
これほどまでに皆さん嬉しそうな笑顔であったかと改めて驚きました。



七福神 in 浅草 茶寮一松
2025 9 17

今回の集まりを最も盛り上げてくださったのは、浜崎さんあなたです。

あなたのおかげで大変な盛り上がりでした。

良き友に勝る一生の宝はないと言う感じでした。

長生きして会を重ねたいものです。

ご家族の皆さんにもよろしくお伝えください。ありがとうございました。



西山

このたびのパーティから早、数日が過ぎようとしております。感想をすでにお寄せくださった方もいらっしゃいますが、まだそうでない方もいます。ぜひとも皆さん一言でも何か感想をお寄せいただければ嬉しく思います。



満留

おはようございます。みつどめです。先日の松本楼での再会うれしい事でした。皆様お元気で何よりです。

人生百年時代 健康に気を付けて 又いつかお逢いしましょう。



安倍

9月16日17日と行われました玉竜8期パーティ、好天気に恵まれ楽しい2日間を過ごすことができました。

初日の松本楼は緑豊かな日比谷公園の中にあり、会場は広々として対面で着席、浜崎さんが高校時代に思い入れのあった彼女に再会できた喜びを素直に語られ皆様の笑いを誘いました。

2人しか出席していない女性にお花をいただき、西山さんの心遣いに感謝するばかりでした。

2日目は、浅草雷門の前に集合しましたが、外国の方々のあまりの多さにびっくりで、私たちが外国に行っているようでした。



浅草の「茶寮一松」での日本料理は美味しく、庭園も美しい日本家屋の中で、皆さんとの談笑しながらの見る目も楽しませてくれた料理は一際美味しく感じられ心から楽しみ、よき思い出つくりになりました。

隅田川を下る船で、浜離宮まで行き散策できたことも嬉しいことでした。あの暑さの中で2日間、元気に楽しめたことを感謝しています。また皆様といつの日にか、再会できることをとても楽しみにいたしております。ありがとうございました。



西山

末尾ではあるが重要なこととして、今回のパーティの呼び掛け早々に、「1人では大変でしょうから、お手伝いましょう」と、安倍さんから声をかけていただきました。

電話連絡、その多くが留守番電話への呼び掛けでしたが、返信の電話はほとんどありませんでした。そのような方々へも、案内書を郵送しましたが、これもほとんど返事は得られませんでした。そのような状況で、安倍さんには、粘り強い呼び掛けを手伝って戴きました。



また、早くから手伝いを申し出てくださった竹之内さんには乾杯の音頭と3分スピーチの時計係、満留さんには、安倍さんと共に受付係と会計を引き受けていただき、パーティをつつがなく行うことができました。この御三方のサポートがなければ、円滑に運ぶことはできなかったと思っています。

それにもましてご参加各位の暖かいご協力がパーティを盛り上げ、同期の集いはかくありたいと成功をもたらしていただいものと、心から感謝申し上げます。

みなさま、より一層健康に留意され、再会を目指して、ご健勝に過ごされますことを祈念しております。

ありがとうございました。西山 和宏

2025年9月22日



浜崎

東京から、帰って来ても、私の旅はずっと続いています。
大石慶二君の足どりをたどって、佐渡島、山形、福島、今日は富山とテ
ーブルに地図を広げて、LINE と見比べながら、慶二君との旅行を楽し
んでいます。もう何歩歩いたのだろう。足は痛くないだろうか。移動中
の動画を見ていると、線路は続くよ、何処までも、と、つい口ずさんでしまう。
慶二君、今日は何処までいったやら !!

2025年9月24日



森

八期旅行から早1週間経ちましたが東京の気温が26度まで
下がってうらやましい限りです。



西山

秋の気配たっぷりです。朝夕は涼しく肌寒さすら感じるような
今日この頃です。



小森

こんにちは
本日、先日の八期会パーティの写真が届きました。
誠に楽しいパーティでした。
又、いつの日かパーティがあるといいですね。小森



西山

(小森さんへ) メールありがとうございます。
私も次回を楽しみにしております。
お元気にお過ごし下さい。



西山

3月から準備にかかった玉竜8期パーティ、9月16日、翌17日へと大いに盛り上がり、楽しい日を過ごすことができたかと思っております。これもご参加ご出席の方々のご協力の賜物でありました。誠にありがとうございました。同期の集まりはかくあるべきだと常々思っております。

編集後記

まず、ご参加の皆様の温かいご協力により無事にスケジュールを終えることができましたことを感謝申し上げます。

多人数の参加ではありませんでしたが、年齢を考えればよく参集できたと思うべきかもしれません。ましてや鹿児島から遠路はるばるご参加には深く感謝しております。今回出席できなかった方々、体調を整えて、次回にはご参加いただけるようにお待ち申し上げております。

ありがとうございました。

これで締めくくろうとしていたら、今朝（9月3日）、H（苗字イニシャル）くんから次のようなeメール（2025/10/02（木）23:15発信）が送られてきました。

以下、Hくんよりメールの要旨

H（同）さん主催？の関東八期会の会、以下、案内します。

- | | |
|-------|--|
| 1. 日時 | 2025年10月10日 11時 |
| 2. 会場 | 豆ちゃ日本橋 コレド日本橋（旧白木屋）4F の食堂街
--- 中略 --- |

今年の八期会は貴君にも案内が送られていると思いますが、ひょっとしたらと思って、余計なことかもしれません、メールしておきます。

---後略---

私の返信要旨

「Hさん主催の関東八期会」の案内を戴いていないどころか、そのようなものが存在していることを知りません。お知らせ頂きまして、誠にありがとうございます。

以上

今年3月以降、東京パーティ開催の案内を始めてから「Hさん主催の関東八期会」らしいものの存在を聞きましたが、詳細は不明のままです。

私が、関東玉龍同期忘年会の幹事を行っていたとき（2008年&2009年）、彼女が要求する開催の月日と場所の変更を拒絶したことから疎んじられるようになったようです。2014年5月、ある人から「あなたが八期会を潰そうとしていると言われているわよ」と教えられたありました。その時は、その意味がよく分かりませんでした。今年3月以前には「Hさん主催の関東八期会」について、私に語る人はいませんでした。

たが、今年3月以降、その概要を少しずつ聞くことができるようになりました。しかし、いまだ正確な運営状態は知るよしもありません。

今年2月28日、関東八期会を主宰していると言われているHさんから「西山くん お久し振りです！」の書き出しで、突然eメールが送られてきた。その要旨は「東京で八期の会をやるとしたら、毎年やっております10月10日の日にしてくださったら如何でしょう？」というものであった。

私は、その「毎年やっております10月10日.....」とは何のか、教えてくださいと返信をしましたが返事を頂けませんでした。

慣例として、各組から2名が幹事として出て、順送りで忘年会を企画・運営してきましたが、いつの間にか順送りさせずに、Hさんが一手に取り仕切るようになったようです。関東玉龍八期会では、会長や代表を選出したことはありません。

以上のような状況で、関東玉龍会のイメージは、あまりよくないものになっているのではないかと、東京パーティの案内をしながら感じました。高齢のため参加が難しくなっていると指摘もありましたが、郵送による東京パーティ案内に対する応答率は極めて低いものでした。

あまり愉快な話ではなかったと思います。これが関東玉龍八期会について、私が感じていることを述べました。

最後にもう一度、今回ご参加いただきました方々に深く感謝申し上げます。

ご健勝に過ごされ、次の機会にも、楽しい集いをしたいものだと願っております。

ありがとうございました。